

2025年 年頭のごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます

今年は戦後80年 これまで以上に、平和の来し方行く末を考える1年にしなければと思います

昨年は日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました
うれしいという言葉が相応しいかどうかわかりませんが、あらためて広島・長崎への原爆投下について考え、日本だけでなく韓国、米国、ブラジルなどに居住している被爆者の方々にも思いを致すことになりました

今なお世界の至るところで、人の命がいつも簡単に奪われています
このようなタイミングで、光州事件(1980年5月)を題材にした作品など数々の名作を描いてきたハンガン(韓江)さんがノーベル平和賞を受賞されました
しかしその喜びもつかの間、韓国ではかつての軍事政権時代を彷彿とさせる戒厳令が突如出され、最悪の事態には至らずも社会の混乱は続いています

石破総理が誕生しました 総理は石橋湛山先生の支持者とのこと 先生はあの暗黒の時代に、平和主義、言論の自由を貫いた人でありました
“蛇の道は蛇”をたとえに出せば総理に失礼かもしれませんが、戦後80年の巳年に思う“平和”の道を、なのであります

皆様の今年一年のご多幸を心からお祈り申し上げます

2025年 元旦



鳥取県信用保証協会

会長 野川 聡